



阿波市 第2次教育振興計画 (後期計画)

概要版



令和8年3月
阿波市教育委員会

計画の概要

- 教育基本法第17条第2項に基づき市町村が策定する「市町村教育振興基本計画」に該当します。
- 郷土を愛し、誇りを持って地域と関わる人材の育成を目指し、食育を基盤とした知・徳・体の調和のとれた「生き抜く力」の育成や、地域資源を生かした学習の充実を通じて、生きがいと感動に満ちた、ふるさとを誇れる教育の実現を図ります。
- 前期計画から引き継ぐ教育ビジョン（基本構想）の計画期間は、令和3年度から令和12年度までの10年間です。後期計画で新たに定める推進計画の期間は、令和8年度から令和12年度までの5年間です。

(年度)	令和3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
阿波市教育大綱	(5年)					(5年)				
本計画(教育ビジョン)	(10年間)									
本計画(推進計画)	前期計画(5年)					後期計画(5年)				

教育ビジョン

学び合う 深め合う 高め合う 阿波市教育

「子育てするなら阿波市」のキャッチフレーズの下、「学び合う 深め合う 高め合う 阿波市教育」を目指す教育行政を推進します。また、「みんなでつくる 未来に誇れる やすらぎのまち 阿波市」の実現に向け、市の将来を担う人材を育成するため、阿波市教育の教育理念を次のとおり定めます。

未来をつくる力

全ての市民が夢を持ち、夢に向かって自ら努力する力を身につける

たくましく生きる力

国内外で生き抜く知力・体力・気力を自ら獲得し、常に高めていく力を身につける

郷土を愛する心

郷土の自然環境、歴史文化、人とのふれあいを通じて、人、郷土、国を愛する豊かな心を身につける

施策体系

教育目標	教育施策
<p>1 食育を基盤にした、知・徳・体の調和のとれた生き抜く力の育成（学校教育）</p>	<p>1-1 生きる力の育成を重視した教育内容の充実</p> <p>1-2 時代の変化に対応する教育 DX の推進</p> <p>1-3 地域とともにある学校づくり</p> <p>1-4 悩みや不安の解消、心の問題への対応</p> <p>1-5 特別支援教育、帰国・外国人児童生徒への支援の充実</p> <p>1-6 安全・安心な教育環境づくり</p>
<p>2 誰もが学び続け、社会参画する力を育む生涯学習の充実（生涯学習）</p>	<p>2-1 生涯学習推進体制の充実</p> <p>2-2 生涯学習関連施設の整備充実・機能強化</p>
<p>3 生涯にわたりスポーツに親しむ環境づくり（スポーツ振興）</p>	<p>3-1 幅広いスポーツ活動の普及促進</p> <p>3-2 スポーツ施設の整備充実・有効利用</p>
<p>4 郷土を愛する心と創造力が育つ、市民全体の文化芸術活動の促進（芸術・文化振興）</p>	<p>4-1 文化団体等の活動の促進</p> <p>4-2 文化財の保存・活用</p>
<p>5 青少年の健全な生活を守り抜く環境づくり（青少年健全育成）</p>	<p>5-1 青少年の健全育成の推進</p>
<p>6 多様性を認め、互いに尊重し、つながりを実感できる社会づくり（人権教育・国際理解）</p>	<p>6-1 人権教育・啓発の推進</p> <p>6-2 国際感覚豊かな人材の育成と国際交流の推進</p>

食育を基盤にした、知・徳・体の調和のとれた生き抜く力の育成 (学校教育)

1-1 生きる力の育成を重視した教育内容の充実

現状	課題
<ul style="list-style-type: none"> ●主体的・対話的で深い学びを重視した取組を通じて、確かな学力の定着を図っている ●学校給食における阿波市産農産物の活用、栄養教諭・養護教諭等による授業で食育を推進 	<ul style="list-style-type: none"> ●運動習慣の定着や生活習慣の形成による、児童生徒の肥満度割合の減少 ●今後も新鮮で安心な阿波市産農産物を学校給食に取り入れ、健康的な食生活を実践することで、心と身体の健康を維持し、「生きる力」を育成する

5年間の方針
主体的・対話的な学びや英語教育、食育などを充実させ、知・徳・体の調和のとれた「生きる力」を育みます。

- 主な事業
- 教育・保育要領に基づく教育の実施
 - 確かな学力の育成
 - 豊かな心の育成
 - 健やかな体の育成
 - 環境教育の充実
 - 食育・地産地消の推進
 - 読書活動の推進
 - 就学援助の実施
 - キャリア教育の推進

1-2 時代の変化に対応する教育DXの推進

現状	課題
<ul style="list-style-type: none"> ●機器・環境の整備、ICT支援員の派遣、教職員研修の実施等を通じ、ICT機器を活用した「楽しくて、わかる授業」を実践 	<ul style="list-style-type: none"> ●校務DXの推進による教職員の働き方の適正化 ●教育データの利活用によるきめ細かな指導

5年間の方針
ICT教育で「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実を図るとともに、教育DXで教職員の働き方改革ときめ細かな指導の拡充を推進します。

- 主な事業
- 教職員の資質向上
 - 働き方改革の推進
 - ICT教育の推進

1-3 地域とともにある学校づくり

現状	課題
<ul style="list-style-type: none"> ●コミュニティ・スクールを導入・実施している ●地域住民等の知識や技能を学習活動に活用し、郷土への愛着を育む取組を推進 	<ul style="list-style-type: none"> ●コミュニティ・スクールに参画する地域住民の継続的な確保 ●部活動の地域展開に向けた計画的な体制整備

5年間の方針
学校・家庭・地域が連携し、地域資源や人材を生かした特色ある教育活動を展開することで、地域全体で子どもを育む教育を推進します。

- 主な事業
- 学校・家庭・地域と連携した取組
 - コミュニティ・スクールの活用
 - 小・中・高等学校の連携強化の取組

1-4 悩みや不安の解消、心の問題への対応

現状	課題
<ul style="list-style-type: none"> ●中学校区ごとにスクールカウンセラーを配置 ●教育支援センター（阿波っ子スクール）で不登校児童生徒や卒業後の生徒を支援 	<ul style="list-style-type: none"> ●SNS上のいじめ等、表面化しにくい問題の増加 ●子どもの心のSOSを見逃さない仕組みづくり ●ICTを活用した相談・支援の拡充

5年間の方針
健康観察や保健指導を通し、子どもたちの心のSOSを見逃さず、多面的かつ中長期的な支援に取り組めます。

- 主な事業
- 教育支援センターの運営
 - SOSを見逃さない体制づくりの充実

1-5 特別支援教育、帰国・外国人児童生徒への支援の充実

現状	課題
<ul style="list-style-type: none"> ●多様な教育的ニーズに応じた支援の充実とインクルーシブ教育の推進 ●切れ目のない支援体制づくりを推進 	<ul style="list-style-type: none"> ●支援を必要とする児童生徒の増加に対応できる校内体制の強化 ●教職員等の専門性向上 ●情報共有の仕組みの充実
<p>5年間の方針</p> <p>一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援体制を充実させ、誰もが安心して共に学び、成長できる教育環境を推進します。</p>	<p>主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ■特別な支援を必要とする子どもの教育環境づくり ■相談支援体制の充実 ■帰国・外国人児童生徒への支援

1-6 安全・安心な教育環境づくり

現状	課題
<ul style="list-style-type: none"> ●見守り活動や施設改修等に取り組んでいる ●災害時の安全(耐震等)、快適性(空調等)、不審者侵入防止(防犯設備等)のニーズが高まっている 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域全体で子どもを守る体制の強化 ●児童生徒の健康や安全性を考慮した施設の計画的な改修・更新
<p>5年間の方針</p> <p>児童生徒が安全で快適に学べる環境を維持し、防災・防犯体制の強化と学校施設の計画的な整備・更新を進めます。</p>	<p>主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ■地域全体の連携強化 ■防災教育の充実 ■安全教育の充実 ■施設の長寿命化工事 ■施設バリアフリー化 ■教育施設の充実

教育目標 2

誰もが学び続け、社会参画する力を育む生涯学習の充実 (生涯学習)

2-1 生涯学習推進体制の充実

現状	課題
<ul style="list-style-type: none"> ●市民の学習ニーズに応じた各種講座を、生涯学習・公民館事業として開催 ●「広報あわ」や市ケーブルテレビを活用して周知 	<ul style="list-style-type: none"> ●各種講座への参加者の固定化 ●「広報あわ」等を活用した一層の情報提供 ●受講生アンケート等を利用した事業の活用
<p>5年間の方針</p> <p>市民一人ひとりが生涯にわたって学び続けられる環境を整え、個々のニーズやライフステージに応じた多様な学習機会の充実を図ります。</p>	<p>主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ■関係機関との協力による事業、講座の実施 ■講座内容の定期的な見直し ■生涯学習情報の提供 ■各種講座の開催

2-2 生涯学習関連施設の整備充実・機能強化

現状	課題
<ul style="list-style-type: none"> ●アエルワや図書館、公民館等の生涯学習関連施設が拠点となり、市民の文化活動を支えている 	<ul style="list-style-type: none"> ●老朽化が進む施設の整備・改修 ●施設を持続させるための効率的な運営
<p>5年間の方針</p> <p>老朽化への対応や機能の見直しを進め、市民が安心して利用できる持続的で効率的な生涯学習環境を整えます。</p>	<p>主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ■図書館機能の充実 ■図書館指定管理者制度による効率的な運営 ■公民館機能の強化 ■図書館・公民館施設の整備

教育目標 3

生涯にわたりスポーツに親しむ環境づくり（スポーツ振興）

3-1 幅広いスポーツ活動の普及促進

現状	課題
<ul style="list-style-type: none"> ● 「市民ひとりスポーツ」を合言葉に各種スポーツ事業を実施 ● スポーツ情報を発信し、市民の健康づくりを支援 	<ul style="list-style-type: none"> ● 少子高齢化・競技人口減少に対応する選手確保、小学校段階からの育成強化 ● 総合型地域スポーツクラブの持続的な自主運営
<p>5年間の方針</p> <p>市民一人ひとりが生涯にわたり親しめる多様なスポーツ活動を推進し、健康づくりと地域交流の促進、ニュースポーツの普及や指導者の育成を進めます。</p>	<p>主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ スポーツ普及事業 ■ 競技力向上支援事業 ■ 市民の健康・体力づくり推進事業 ■ 全市的な推進組織の運営、理解促進 ■ スポーツ団体・指導者の育成

3-2 スポーツ施設の整備充実・有効利用

現状	課題
<ul style="list-style-type: none"> ● 市内スポーツ施設の維持管理・学校施設の開放等で、スポーツに親しめる環境を提供 	<ul style="list-style-type: none"> ● 老朽化した施設の大規模改修及び財源の確保 ● 利用状況や人口減少を踏まえた施設運営
<p>5年間の方針</p> <p>ニーズに合った施設整備と計画的な改修工事を推進し、市民がスポーツを楽しみ、地元の選手やチームのレベルアップを支える環境を整備します。</p>	<p>主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ スポーツ施設の整備充実及び有効活用

教育目標 4

郷土を愛する心と創造力が育つ、市民全体の文化芸術活動の促進（芸術・文化振興）

4-1 文化団体等の活動の促進

現状	課題
<ul style="list-style-type: none"> ● 文化協会に所属する文化団体が自主活動を展開 ● 阿波市文化祭を開催し、地域の文化振興に寄与 	<ul style="list-style-type: none"> ● 活動の担い手不足、継続性の確保 ● 伝統行事や文化遺産の次世代継承
<p>5年間の方針</p> <p>文化施設や阿波市文化祭等を活用し、市民参加と鑑賞機会を拡充するとともに、文化団体支援や伝統文化継承を進め、地域文化の振興と次世代への継承を図ります。</p>	<p>主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 情報の提供 ■ 指導者や文化ボランティアの確保 ■ 文化行事の拡充 ■ 市民参画の促進

4-2 文化財の保存・活用

現状	課題
<ul style="list-style-type: none"> ● 土成歴史館や市場歴史民俗資料館を拠点として、市民が歴史や文化に触れる機会を提供 	<ul style="list-style-type: none"> ● 文化財保護の体制強化・支援 ● 伝統芸能や無形文化財の次世代継承
<p>5年間の方針</p> <p>文化財保護体制や調査研究を充実させ、市民への普及啓発や情報発信を強化し、施設機能の向上と次世代への伝統文化継承を図ります。</p>	<p>主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 文化財保護体制や調査研究体制の整備 ■ 文化財の継承と活用 ■ 文化財の広報活動の充実 ■ 施設の整備充実と有効活用

教育目標 5

青少年の健全な生活を守り抜く環境づくり（青少年健全育成）

5-1 青少年の健全育成の推進

現状	課題
<ul style="list-style-type: none"> ● 家族形態の変化や地域のつながりの希薄化により、家庭や地域の教育力低下が懸念される ● 青少年健全育成市民会議と阿波市青少年育成センターが中心となり、街頭巡回指導等の青少年自立支援事業を展開 ● 地域での体験学習活動や放課後健全育成事業を実施し、青少年の健全な成長環境を整備 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域団体や子ども会の持続的な運営、指導者確保 ● SNSやスマートフォンの利用に関する情報モラルの育成、非行・犯罪被害防止対策の強化 ● 家庭教育の機能向上に向けた環境整備、地域と家庭が協働して子どもを守るネットワークづくり ● 地域の教育環境や公共施設を活用した体験活動、子どもと大人の交流機会の提供

5年間の方針

青少年育成センターを軸に家庭・学校が連携し、子どもと大人が地域で交流ができる場所を提供し、家庭教育支援と多世代交流を通じて健全な成長環境を整えます。

主な事業

- 関係機関との連携強化
- 環境美化活動
- 青少年健全育成の推進
- 地域ぐるみの健全育成運動の展開
- 親子を対象とした体験活動等の実施
- 文化やスポーツの拠点づくり
- 家庭教育の充実
- 指導者養成講座の開催
- 子ども会活動の支援

教育目標 6

多様性を認め、互いに尊重し、つながりを実感できる社会づくり（人権教育・国際理解）

6-1 人権教育・啓発の推進

現状	課題
<ul style="list-style-type: none"> ● 阿波市人権教育推進協議会を中心に、行政、学校、NPO法人等が研修会や講演会、人権フェスティバル等を実施 ● 講座や各種研修を行い、人権意識の向上に努める 	<ul style="list-style-type: none"> ● 関係団体やNPO法人等と連携し、地域全体で人権尊重の風土を醸成する ● 啓発事業への参加者確保 ● 近年新たに生じた課題を含めて対応する教材・研修・相談体制の整備

5年間の方針

家庭・学校・地域社会・職場などあらゆる場と機会を通じて、市民の人権教育・啓発を推進し、人権が尊重される社会の実現を目指します。

主な事業

- 指導者の養成
- 人権啓発事業の実施
- ぱあわーあつぷ事業

6-2 国際感覚豊かな人材の育成と国際交流の推進

現状	課題
<ul style="list-style-type: none"> ● 学校教育では、ALT（外国語指導助手）の配置や英語指導講師の活用を通じて外国語教育を充実 ● 生涯学習では、英会話講座や交流事業を開催し、国際理解を促進 	<ul style="list-style-type: none"> ● 市民への関心喚起、参加促進の方策 ● 交流活動を継続的に主導できる人材やコーディネーターの育成 ● 国際理解教育と外国語教育・地域文化学習等を組み合わせた体系的な位置づけ

5年間の方針

外国語の学習を通じて国際交流活動を支援し、国際感覚豊かな人材の育成を図ります。

主な事業

- 英会話教室の開催
- 国際交流の推進

計画の推進体制

全市的な推進、 国・県との連携

市教育委員会を中心に、総合教育会議の開催等により、行政内の関連部署と緊密に連携し、本計画の着実な推進を図ります。国・県をはじめ、庁外を含む関係機関と積極的な連携を図り、最新の知見を生かし、よりよい教育行政に努めます。

評価の実施・ 計画の見直し

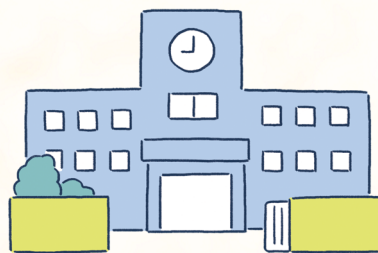
本計画の進捗状況の確認、施策の効果・成果、課題の検証を毎年度行います。また、令和12年度に、それまでの評価結果に基づき、「第3次教育振興計画」の策定に向けた計画の見直しを行います。

学校等・家庭・地域の 連携・協働

学校等、家庭、地域、関係する組織・団体がそれぞれの役割を果たしながら、相互の連携と協働によって計画を推進します。本計画の進捗状況、市教育委員会の方針、学校等運営など、教育行政に関する情報の積極的な提供と共有化を図ります。



国連が2030年までに達成すべき具体的な目標として掲げた「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals:SDGs)」について、本市においても取組を進めていきます。



阿波市第2次教育振興計画(後期計画) 概要版

発行 令和8年3月

発行者 阿波市教育委員会

〒771-1695

徳島県阿波市市場町切幡字古田 201 番地 1

TEL 0883-36-8740 FAX 0883-36-8762